

平成28年度

南アルプス市障害者自立支援協議会報告書

平成29年3月

南アルプス市障害者自立支援協議会

はじめに

平成 28 年度は、南アルプス市自立支援協議会がよりコンパクトで密な議論ができるようリニューアルされました。運営の中心となった市障害福祉課や障害者相談支援センター、そして部会や連絡会へご協力いただいた皆様に感謝いたします。

本人中心の生活を実現するために「このまちは今、どうなっているのか？どうなっていくべきなのか？」。地域移行や、権利擁護という言葉を砕いて言語化し、具体的に取り組む部会が立ち上がりました。実務者の横の繋がりや、労いの場として連絡会も活発に活動を行ってきました。

この動きを、関係者の方々だけでなく、より多くの市民の方に知っていただき、官民協働の地域づくりの輪が少しずつでも広がっていけるよう、今後ご協力・ご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

南アルプス市障害者自立支援協議会会長 鴨作 光昭

目次

南アルプス市障害者自立支援協議会について	2
地域の解決困難事例から展開する自立支援協議会<図>	3
平成28年度南アルプス市障害者自立支援協議会体制図	4
協議会ダイジェスト	
定例会	5
専門部会 権利擁護部会	6-7
専門部会 地域移行部会	8-9
連絡会 計画相談支援事業所連絡会	10
連絡会 居宅介護事業所連絡会	11
事例検討の場	
事例検討会ほっと<チラシ>	12
個別の課題から考える自立支援協議会での取り組み案<平成28年7月、運営会議資料>	13
年間スケジュール	14
協議会委員名簿	15

南アルプス市障害者自立支援協議会について

●障害者自立支援協議会とは

南アルプス市で暮らしている方で、障害や病気のある方（当事者）が地域での生活を送るうえでは、「必要な制度や福祉サービスの不足や使いにくさ」「必要な情報が届いていない」等の課題があります。また、当事者の地域生活を支える支援者においても、当事者のよりよい生活の実現を目指す中で、地域に必要な支援体制が整っていないために「すぐには解決できない」課題に直面することがあります。

南アルプス市障害者自立支援協議会は、このような課題を地域の福祉課題として取り上げて、様々な立場の支援者が解決に向けて話し合う場です。

※参考 図：地域の解決困難事例から展開する自立支援協議会 p 3 掲載

●実施体制

次の4つの形態の会議で構成され、市障害福祉課と障害者相談支援センターが事務局を務めています。

「定例会」 地域の関係機関の実務者による地域の福祉課題の解決に向けた協議（年4回）

「運営会議」 正副会長と事務局による地域の福祉課題の整理や協議の方向性の確認（定期開催）

「専門部会」 定例会で協議された課題等に対する具体的な取り組みの場（随時開催）

「連絡会」 同種の事業所間による情報共有やネットワークづくりの場（定期開催）

各会議が相互に連動することで協議会は活性化し、当市の障害者相談支援体制の充実に結びつきます。言い換えれば、当事者が「その人らしく、よりよく生活する」ことの実現の鍵は、自立支援協議会が活発に動くことです。また、協議会で話し合われた内容で、施策化が必要となるものは障害者施策推進協議会で取り上げられることとなります。

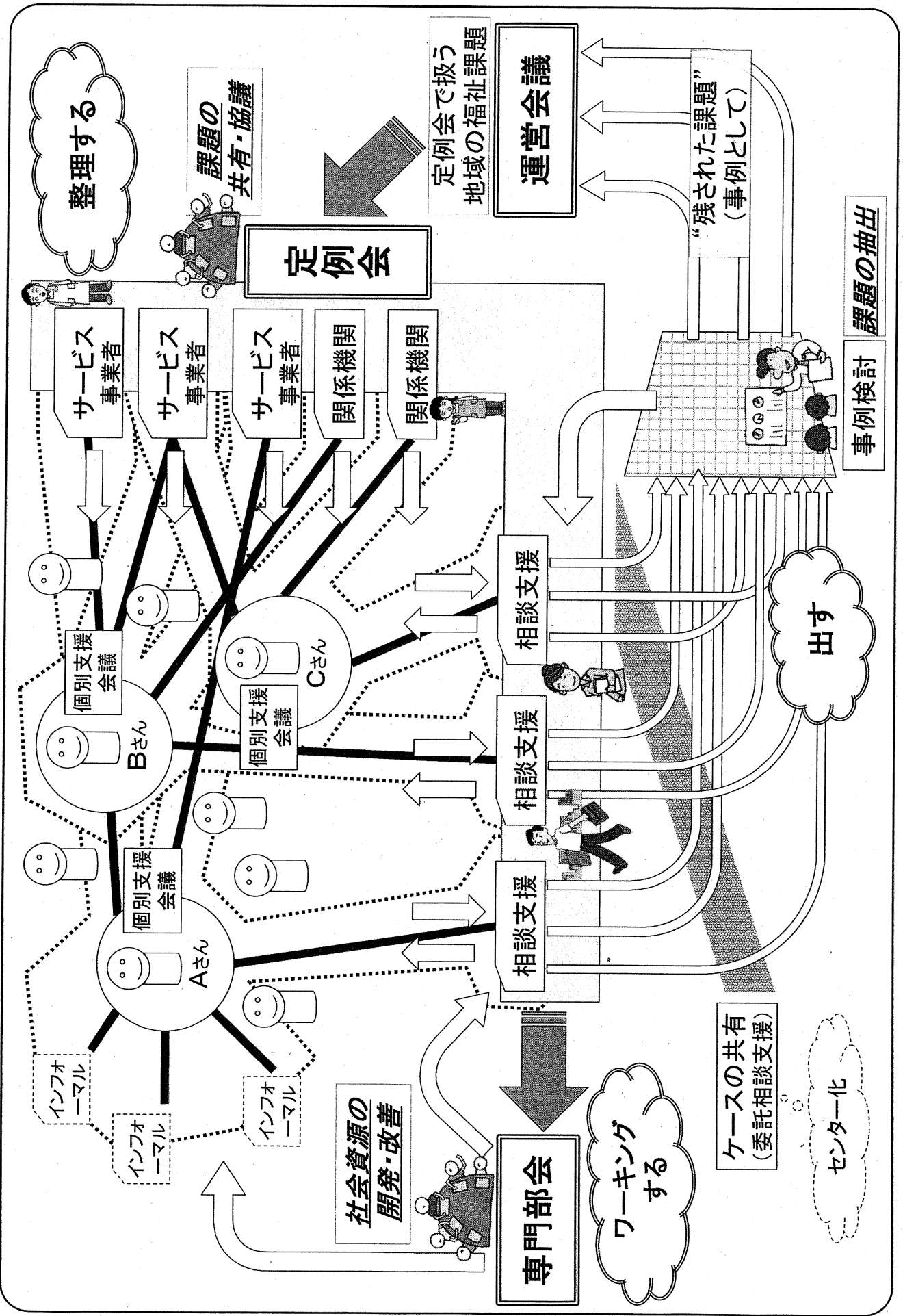
※参考 図：平成28年度南アルプス市障害者自立支援協議会体制図 p 4 掲載

●平成28年度の活動概要

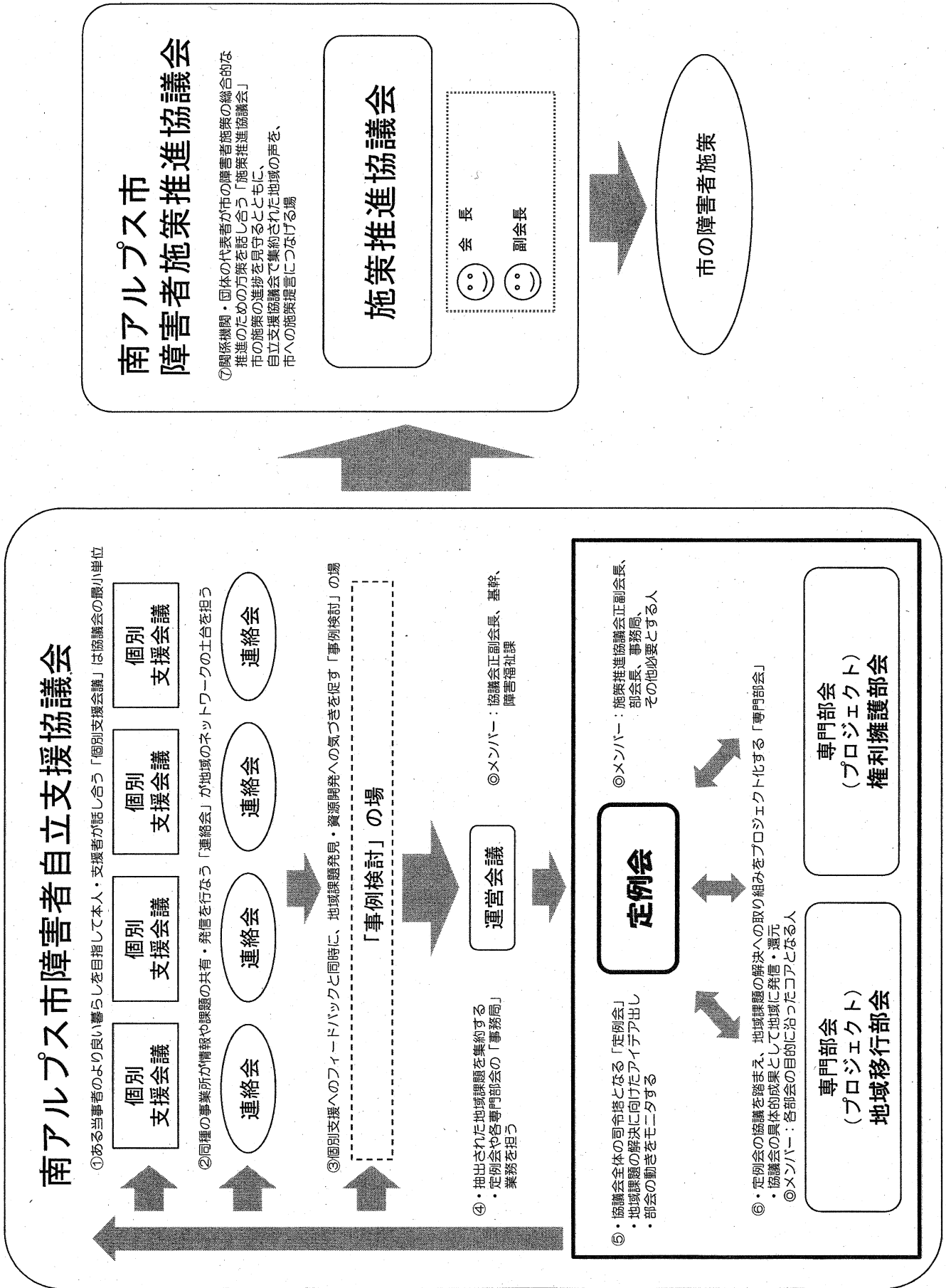
本年度は、地域の福祉課題について地域のコアメンバーが密に話し合える場の設定や、協議会の各会が計画的に活動できるようにするための事務局機能の強化等、協議会の再構築に努めました。また、新規の専門部会として、精神科病院における社会的入院の解消と予防に取り組む地域移行部会、障害者虐待防止と体制整備に取り組む権利擁護部会を設置し、実態調査や研修の企画等、具体的な取り組みが進められました。計画相談支援事業所連絡会と居宅介護支援事業所連絡会では、情報共有にとどまらず、特定の課題解決に向けた活動や合同連絡会の実施等、活発な動きが見られました。

この報告書では、本年度の南アルプス市障害者自立支援協議会の動きをお伝えします。当市障害者相談支援体制の充実、機能強化の取り組みは発展途上ですが、本年度の成果と課題を次年度に活かしながら、今後も自立支援協議会の活性化に努めます。

地域の“解決困難事例”から展開する自立支援協議会



平成28年度南アルプス市障害者自立支援協議会体制図



平成28年度 南アルプス市障害者自立支援協議会ダイジェスト

-協議会の司令塔、地域の福祉課題の解決に向けたアイデア出し、専門部会の進捗管理-

定例会

●定例会について

- ・一人の当事者の困り事や支援者の抱える支援の困り感から見た地域の福祉課題について、課題解決に向けた方策を協議します。
- ・地域の福祉課題についての協議の他、専門部会や連絡会の動きを進捗管理する機能により、自立支援協議会の核となる役割を果たしています。

●この1年の動きや出来事

- ・委員の人数をスリム化し、地域のコアメンバーで密度の高い協議ができる体制を整えました。
- ・専門部会の進捗管理と、よりよい活動に向けた協議を図り、専門部会の活性化の一助となりました。
- ・国が基本指針で示す「地域生活支援拠点」の議論を開始しました。地域生活支援拠点の整備に向けては、緊急時のコーディネート機能や受け皿が現在の相談支援体制で確保できるのか、当市の様々な社会資源を有効的に活用できるのか等が論点となりました。そこで、定例会では地域生活支援拠点の整備を「当市の相談支援体制の見直し作業」と位置づけ、定例会の委員より選出されたメンバーによるワーキングチームを立ち上げ、議論を進める方針としました。
- ・実際の事例から「学校や学童の場に適応できないことが課題とされた児童の居場所」について取り上げました。当市の「途切れのない支援連携会議」で取り組まれている課題であり、連携会議と連動していく必要性等を確認しました。地域の福祉課題を抽出し、具体的に何を議論するのか等、定例会の進め方が課題となりました。

●次年度の活動

- ・積年の課題であった地域の福祉課題を抽出する仕組みを整え、地域の福祉課題の解決に向けた議論が活発に行われる定例会となるよう努めます。
- ・当市の障害者相談支援体制の方向性や機能強化に関わる、障害福祉計画の策定や地域生活支援拠点の整備等について、積極的な協議を進めます。

●委員

- 会 長：鴨作（相談支援センターカマラド）
副会長：田中（生活支援センターなしのみ）
委 員：塩澤（障害者施策推進協議会会長）
上田（障害者施策推進協議会副会長）
有野（相談支援センターカマラド）
飯室（中北圏域マネージャー）
中澤（福祉総合相談課相談支援担当）
河野（福祉総合相談課地域福祉担当）



※地域のコアメンバーで、地域の福祉課題を協議する

専門部会

-地域の福祉課題を解決する-

権利擁護部会

●権利擁護部会について

- ・虐待防止を主眼として、市の体制や福祉現場の支援の質の向上について考えることを趣旨として、立ち上がりました。
- ・ファシリテートできる人材の育成を行っていくことや、障害福祉従事者の実情に即し、実践へ効果的に還元されることを意図した研修の企画を行いながら、当市の障害者虐待防止体制の在り方をまとめることを目標としています。

●この1年の動きや出来事

- ・当市における障害者虐待の事例や、虐待対応及び防止に係る体制を検証し、整理をしました。
- ・検証結果に基づき、相談支援を中心に支援者のサポート体制に焦点を当てました。日常の支援がよりよく回るために、リスク解消に向けて支援の方策を具体化するケース会議を行い、支援者を孤立させない場づくりを行ってきました。
- ・支援者が孤立しないためのバックアップ体制や、事例検討・ケース会議の場を活用することによる日常の支援がよりよく回る仕組みについて整理をし、チャート化しました。
- ・上記の取り組みの中で、リスクの評価を行う軸の必要性や、問題解決に向けたアプローチについて学ぶ機会を虐待防止研修として部会で企画しました。
- ・市の障害者虐待防止センター関係者や、市内の相談支援事業者の方々に参加してもらい、安心づくり安全探しアプローチ（AAA）研究会の副田先生を講師にお招きして、虐待防止研修を行いました。

●次年度の活動

- ・安心づくり安全探しアプローチを活用したケース会議の開催
- ・ファシリテーターの育成
- ・障害福祉従事者の実情に即し、実践へ効果的に還元されることを意図した研修の企画

●部会員

部会長：鴨作（相談支援センターカマラド）

部会員：田中（障害福祉課障害者自立支援担当）

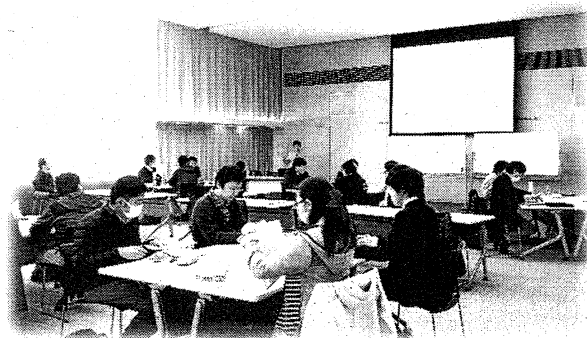
中澤（福祉総合相談課相談支援担当）

河野（福祉総合相談課地域福祉担当）

事務局：宮下（障害福祉課障害者自立支援担当）

窪川（障害者相談支援センター）

中村（障害者相談支援センター）



※3/11 開催 虐待防止研修

平成28年度 南アールプス市障害者自立支援協議会 < 権利擁護部会 > 年間予定表

【趣旨】 虐待防止を主眼として、市の体制や福祉現場の支援の質の向上について考える

【活動目標】

障害者虐待の事例や、虐待対応及び防止に係る体制を評価検証する。障害福祉従事者の実情に即し、実践へ効果的に還元されることを意図した研修の企画、関連施策・機関との連携との運動に基づき当市の障害者虐待防止体制の在り方をまとめる。

【今年度の目標】
 ・障害者虐待防止センターと相談支援専門員等との連携・協働のモデルの試行、可視化。
 ・障害者虐待防止研修の実施。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
部会日程				(第0回) 8月2日(火) 13:30~	第1回 8月31日(水) 13:00~	第2回 9月16日(金) 13:30~	第3回 10月12日(水) 13:30~	第4回 11月10日(水) 10:30~	第5回 12月7日(水) 13:30~	第6回 1月17日(火) 13:30~	第7回 2月21日(火) 13:30~	第8回 3月23日(木) 13:30~
内容				企画書案 ・趣旨確認	H24~28虐待防止C受理案件の要因分析 ・差別解消法職員対応要領の検討		従事者からの虐待案件の要因分析	10月6日 相談支援C主催のケース会議を実施	10月21日 虐待防止C主催のケース会議を実施	10月21日 虐待防止C主催のケース会議を検証	虐待防止センターと相談支援専門員等との協働モデルの可視化	
	実施			9月15日 虐待防止C主催のケース会議を実施	9月15日実施 のケース会議を検証	10月6日 相談支援C主催のケース会議を実施	10月6日実施 のケース会議を検証	10月21日 虐待防止C主催のケース会議を実施	10月21日 虐待防止C主催のケース会議を検証する目的を再確認	各研修の進捗状況の共有 ・12月9日 市内虐待対応研修実施	・今年度の活動検証	・年間の活動のまとめ ・次年度の計画
	検証			9月14日(水) 16:00~	8月 日(火) ~					ケース会議を再確認	・市内研修振り返り ・従事者研修の進捗確認	・部会活動報告内容の協議 ・役割分担
研修企画							研修テーマの設定 ・座談会の再構築	虐待防止研修の企画立案	ケース会議の進捗状況の共有 ・12月9日 市内虐待対応研修実施	・1月 日() ~	2月17日(金) 16:00~	3月17日(金) 15:30~
事務局会議					8月 日(火) ~	9月14日(水) 16:00~	10月20日(木) 15:30~	11月 日() ~	12月 日() ~	1月 日() ~	2月17日(金) 16:00~	3月17日(金) 15:30~
内容						・部会の流れを確認	・議題の検討 ・流れの確認	虐待防止研修の企画立案	ケース会議を再確認	・市内研修振り返り ・従事者研修の進捗確認	・部会活動報告内容の協議 ・役割分担	・3月11日 従事者向け研修実施
定例会日程					8月3日(水) 13:30~		10月6日(木) 13:30~		12月8日(木) 13:30~		2月6日(月) 13:30~	

平成28年度 南アルプス市障害者自立支援協議会ダイジェスト

専門部会

-地域の福祉課題を解決する-

地域移行部会

●地域移行部会について

- ・精神科病院に長期入院されている方の地域生活への移行と長期入院の予防に取り組んでいます。
- ・地域生活への移行に向けた実際の支援を通して支援のモデルを作ること、南アルプス市として地域移行を推進するための体制を整えること、医療と福祉の連携体制を構築することを目標にしています。

●この1年の動きや出来事

- ・平成28年8月に部会を設立しました。市レベルでの地域移行に関する協議の場が設置されたことは、当市における地域移行推進体制を強化するものです。
- ・精神科病院に長期入院されている2名の方の支援に部会として取り組み、成果や課題の整理を行いました。地域移行支援に乗るまでの退院意欲を喚起する支援が不足していることや、分野を越えた他制度との連動した支援体制の構築といった課題が見えてきました。
- ・南アルプス市に住所があつて、県内の精神科病院に入院している方の実態調査を実施しました。平成28年10月1日時点で、97名の方が入院されており、そのうち、45名が1年以上の入院であることが明らかになりました。

●次年度の活動

- ・実態調査で明らかにした長期入院されている方と面会し、ご本人の希望や意向、状況等を調査します。
- ・個別の事例に取り組み、地域移行支援のモデルを作ります。
- ・地域移行支援に求められるピアサポーターの役割について協議し、ピアサポーターの方との協働による地域移行支援の体制を南アルプス市に整えます。

●部会員

部会長：有野（相談支援センターカマラド）

部会員：上田（峡西病院）

津金（県立北病院）

時田（相談支援センターカマラド）

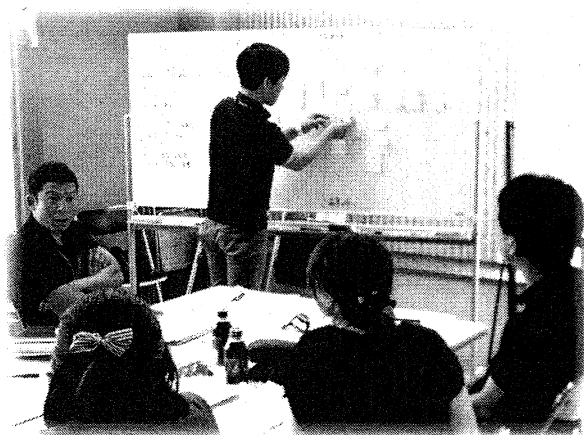
久保（きづな）

和泉（きづな）

事務局：石原（障害福祉課障害者自立支援担当）

坂本（障害者相談支援センター）

中村（障害者相談支援センター）



※調査結果に基づく議論、地域移行の推進のために…

平成28年度 南アルプス市障害者自立支援協議会 <地域移行部会> 年間予定表

【趣旨】 社会的入院の解消と長期入院の予防について考える

【今年度の目標】

- ① 精神科病院の社会的入院の解消に向けて、実践モデルを作る。
- ② 南アルプス市としての地域移行支援(地域相談)の推進体制を整える。
- ③ 医療と福祉の連携体制を構築する。

- ① 部会として地域移行支援の事例に取り組み、支援の流れ(役割、動き方)を可視化する。
- ② 南アルプス市内に住所があり長期入院している方の実態について調査を行う。
- ③ 上記①②の取り組みから、課題を整理し、次年度のアクションにつなげる。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
部会日程				第0回 (第0回) 7月22日(金) 15:30~	第1回 8月23日(火) 13:30~	第2回 9月20日(火) 13:30~	第3回 10月25日(火) 13:30~	第4回 11月24日(木) 13:30~	第5回 12月12日(月) 15:30~	第6回 1月24日(火) 15:30~	第7回 2月22日(水) 10:00~	第8回 3月29日(水) 10:00~
内容				・今年度の地域移行についての取り組みについて検討	・課題の発散 ・年間計画のアイデア出し	・地域移行の実践事例の紹介(カマラド)	・各種会議の報告 ・H26県の調査結果の分析	・他病院の事例について ・関連する研修、会議について	・意欲喚起と病院への働きかけについて ・関係会議の報告	・今年度のまとめ ・新規事例について	・年間の活動のまとめ ・次年度の計画	・次年度の計画 ・ピアとの協働について
個別支援						・地域移行対象事例の検討(峡西病院)	・事例の進捗管理					
地域診断						※事例提出の覚書の要否を検討	・事例から見えてきた課題を抽出					
事務局会議						・実態調査のたたき台作成 ・調査手続きの検討	・調査票完成 ・調査票発送 ※10/6定例会で報告・決裁	↑	・12/22調査票の回収	・調査結果の集計、分析	※2/6定例会で調査結果の報告	・対象者との面会方法や内容の検討
内容					・企画書 ・部会の具体的な活動を検討	・活動計画案を検討	・事例の進捗管理 ・調査票完成 ・関係会議参加報告	・事例の進捗管理 ・調査票回収状況共有 ・関係会議との連携	・事例の進捗管理 ・サービスにのせるまでの課題 ・関係会議との連携	・実態調査の分析、所見 ・実態調査の今後の活用について	なし	・対象者との面会方法や内容の検討 ・ピアとの協働 ・次年度計画案
定例会日程					8月3日(水) 13:30~		10月6日(木) 13:30~		12月8日(木) 13:30~		2月6日(月) 13:30~	

連絡会

-同種の事業所間による情報共有、ネットワークづくり-

計画相談支援連絡会

●計画相談支援連絡会について

- ・計画相談支援・障害児相談支援の円滑な提供に向けて、市内の指定特定相談支援事業所の相談支援専門員が集まり、月1回開催している連絡会です。
- ・情報共有や意見交換を通じて相談支援専門員が抱え込まず、困り感や解決したいことを共有しお互いに支えあっていく場です。

●この1年の動きや出来事

- ・日々の業務の振り返りや情報の共有を目的としたグループワークと、前年度相談支援部会で作成した南アルプス市相談支援体制の心得ハンドブックの読み込みを隔月で行いました。
- ・また前年度に引き続き、①教育連携②多職種連携③他地域連携の3つのプロジェクトチームを作り、日頃の業務の中から生じたニーズの解消に向けて取り組みました。
 - ①教育連携 …支援学校の進路担当の先生と情報交換やケース検討を行い、連携を深めました
 - ②多職種連携…居宅介護事業所との合同会議で計画相談と介護保険の違い、連携等を議論しました
 - ③他地域連携…他地域の計画相談事業所との合同会議を行い、情報共有などを図りました
- ・また、今年度は日頃の当事者との関わりの中から上がった声を基に、当事者の自己決定を目的とした市内就労支援事業所の合同説明会の開催や「相談支援スキルアップ研修（障害者のアセスメントを深めるために）」に参加しスキルアップを図りました。

●次年度の活動

- ・前年度と同様に、3か月単位でその先の実施内容について検討し、その時ホットな話題について取り上げる等、自立支援協議会との連動を意識した会としていきます。
- ・プロジェクトチームについては、今年度のものに新たに福祉事業所合同説明会開催チームを加え、4つのチームで活動を行います。

●メンバー

会長：いくせい

副会長：相談支援センターカマラド

会員：きづな

ケアセンターまた明日

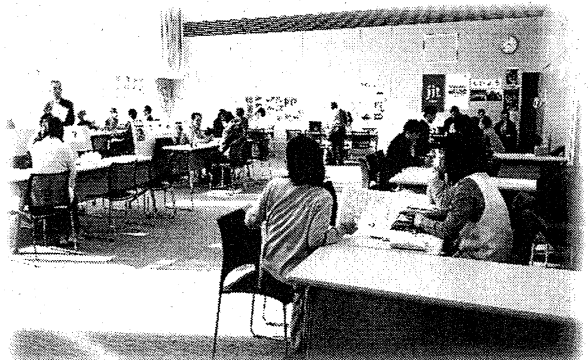
あすなる

ともろうなんでも相談室

ドリームハート 生活支援センターなしのみ

ひなたぼっこ ぼけっとはうす

レーベン



※2/25 開催 就労支援事業所合同説明会

連絡会

-同種の事業所間による情報共有、ネットワークづくり-

居宅介護事業所連絡会

●居宅介護事業所連絡会について

- ・訪問系（居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護）のサービスを行なう居宅介護事業所が、相互の連絡調整、学習の場の企画等を目的に、隔月1回開催している連絡会です。
- ・サービス提供責任者のスキルアップを図り、サービスの質の向上を図ります。

●この1年の動きや出来事

- ・2ヶ月に一度、市内居宅介護事業所のサービス提供責任者が集まり、日頃の業務の中で生じた課題や困り感を「ざっくばらん」に話し合いました。他事業所からアイデアをもらい共有することで、切磋琢磨する場となりました。
- ・8月には、その中から上がった声を基に、計画相談との連携を目的とした計画相談事業所連絡会との合同連絡会を開催しました。介護保険と障害福祉サービスの違いなどを学んだ後、グループワークを通して顔の見える関係となり、その後の業務の進めやすさにつながったとの声が聴かれました。
- ・精神障害のある方への支援で大事な視点を学ぶための研修会も企画をしましたが、都合により次年度に持ち越しとなりました。

●次年度の活動

- ・日々の支援の中で、受給者証を見ても他のサービス内容が分からない、利用者が働く現場を見たい…等の声が多く挙がったため、次年度は「就労・生活介護の制度の理解と事業所見学」を中心に活動し、居宅サービス以外のサービスや、その利用者を取り巻く社会資源に就いても学びを深めたいと考えています。これにより利用者の生活全体を支援することに繋がると考えます。

●メンバー

会長：生活支援センターなしのみ

会員：ライフサポートなごみ

あおぞらヘルパーステーション

楓ケアサービス

ケアポートアトム

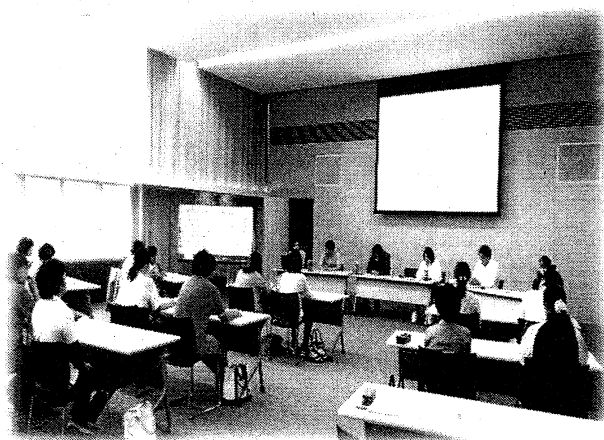
さくら訪問介護

ヘルパーステーションあらぐさ

南アルプス市社会福祉協議会居宅介事業所

HAND IN HAND

やさしい手南アルプス事業所



※29/5/18 開催 精神障害者支援の大事な視点
持ち越しとなった研修会を、翌年度に開催する
ことができました。

なんぶす事例検討会

“ほっと”

“楽しく、やりがいを持って相談支援ができる地域をつくる”

これは、南アルプス市障害者相談支援センターが目指している地域の姿。

思いをカタチにするために、相談支援専門員が共に学び合い、

成長できる場として、事例検討会を企画しました。

野中式事例検討の手法を活用して、対象者理解を深め、支援のアイデアを出し合いながら、

「相談支援の力」を仲間と共に高めていく…。

明日からの実践につながる「気づき」に出会えます。

多くの方のご参加をお待ちしております。

「ほっと」という言葉には、英語の“hot”である「熱い、最新の、熱心に」

という意味の他に、日本語の「ほっと一息」という意味を含んでいます。

『熱い想いを持った地域の相談支援専門員が、ホットな事例を基に熱心に学び合い、
ほっと一息ついて明日への糧にする』…そんな場になるよう、想いを込めて名付けました。

参加対象者 市内相談支援事業所に所属する相談支援専門員の方

事例提供者 上記の方で希望する方

司会・板書 南アルプス市障害者相談支援センター職員

参加方法 裏面のFAX用紙でお申し込みください

各回のお申し込みが可能です

申込み切 各回とも開催日の1週間前

日時・場所 ①1月10日(火) 南アルプス市役所本庁 3階小会議室

②2月3日(金) 南アルプス市役所本庁 3階A会議室

③3月3日(金) 南アルプス市役所本庁 3階A会議室

原則、16:00~17:40(事例検討90分、振り返り10分)

3月は事例検討会についてのご意見を伺う時間をとるため、18時終了予定です

4月以降の予定については、3月中にご案内します。

主催/お問い合わせ先 南アルプス市障害者相談支援センター 担当:坂本

電話055-282-6780 FAX055-282-6095



個別の課題から考える自立支援協議会での取り組み(案)

平成28年7月1日 自立支援協議会運営会議

個別の課題	現状(対応と変化)	残された課題	実施方法(案)
本人が実習先や就労先を決めるための情報の不足	支援学校では、実習先を探す時の主な参考情報が実習文集である。支援者の持つ事業所情報を頼りに、就労先を選ぶことが多い。	就労や就職を希望する方が、事業所の情報を得られ、自己選択と自己決定ができる場が必要	計画相談支援連絡会 就職・就労を目指している方の 同面接会を実施したい
本人が働く環境において不当な扱いを受ける状況がある。	障害者虐待防止研修を実施してもなお、障害者虐待が発生している。本人が望まない状況にいたり、支援者や周りの人たちが、本人とのかかわりにおいて困難を感じているケースがある。	障害がある人に何かあった時の問題解決の仕組み・後ろ盾となる体制が必要である。	権利擁護部 会 広く障害者の権利擁護の観点で 解決に向けて関わっていただける体 制づくり
支援学校より卒業後の進路決定に関して、計画相談に早い時期(2年生の秋頃)から関わってもらいたいとの要望がある。	卒業後の利用事業所が決定した後で計画相談を依頼する現状。地域の相談員からは進路決定のプロセスが見えず、進路を考える段階から関わりたいという声がある。	本人にとつて関わる良いタイミングを互いに共有する場がない。	計画相談支援連絡会 教育連携PT 今年秋に学校と相談支援、両者の 意見交換会を実施。 実施を踏まえて、両者のコアメン バーが近日中に共有・協議する場 を設ける。
医療と福祉の連携に基づく支援が提供されにくい(精神科医療を中心として)	・お互いの機能や役割を理解しあえていない ・地域相談支援が積極的に活用されていない ・地域の現状であり、地域移行の課題は依然として存在する ・わがまちの成果として、「精神障害者支援に関わるコアメンバーが集まり、地域課題を共有し、ソーシャルアクションする場」として、精神保健福祉部会が機能していた	医療と福祉の連携は積年の課題であり、相互に情報・課題共有し、課題解決に向けて継続的に協議できる場が必要	医療と福祉の 連携体制を構 築するための 部会 (リカバリー部 会) ・地域移行・地域定着の推進 ・支援者支援(人材育成) ・ピアサポーター活動関連の推進
親族のいない方、金銭面の生きづらさを抱える方の住居支援時に保証人が見つからず、支援を進められない。	保証人不要物件を探しての転居や、保証人協会の利用を行っている。 しかし、保証人不要物件は民間の物件にしかなく家賃が高額であり、保証人協会の利 用には料金が必要になる。いずれも金銭面 での生きづらさを抱えるケースには困難で ある。	金銭面での生きづらさを抱えてい る方向けへ、保証人・物件を確保 する仕組みが必要。	権利擁護部 会? 地域暮らし部 会? 障害を持つ方、金銭面の生きづら さを抱える方の『住』の権利を保障 する仕組み作りに取り組んでいく
「相談支援専門員」の役割が十分に浸透されていない	事業所間での役割の押し付け合いがある。また、相談支援専門員自身も自身がどこまで関わるべきか良いかに迷いがある。	相談支援専門員同士が自分の 業務を振り返し、整理し、自分の 役割を認識し、周囲へ伝え広め ることができている仕組みが必要	相談支援部 会 ・相談支援のスキルアップに関する 研修の企画 ・「心得ハンドブック」の活用

平成28年度南アールプス市障害者自立支援協議会 年間スケジュール

H29.3.31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
定例会					8.3(水)		10.6(木)		12.8(木)		2.6(月)		定期開催
運営会議		5.9(月)	6.3(金)	7.1(金) 7.14(木) 7.25(日)		9.21(水)		11.25(金)		1.25(水)			定例会前月 (2月定例会以降前後)
地域移行部会				7.22(金)	8.23(火)	9.20(火)	10.25(火)	11.24(木)	12.12(月)	1.24(火)	2.22(水)	3.29(水)	7月以降毎月
権利擁護部会					8.2(火) 8.31(水)	9.16(金)	10.12(水)	11.10(木)	12.7(水)	1.17(火)	2.21(火)	3.11(土) 3.23(木)	8月以降毎月
事例検討会							10.14(金)	11.8(火)	12.6(火)	1.10(火)	2.3(金)	3.3(金)	月1回
計画相談支援連絡会	4.21(木)	5.19(木)	6.16(木)	7.21(木)	8.18(木) 居宅合同	9.15(木)	10.20(木)	11.22(火) 他地域合同	12.15(木)	1.19(木)	2.16(木)	3.16(木)	第3木曜日
介護事業所連絡会	4.21(木)		6.16(木)		8.18(木) 計画合同		10.20(木)		12.15(木)			3.16(木)	第3木曜日、偶数月
就労合同説明会PT							10.11(火)	11.10(木)	12.16(金)		2.8(水) 2.25(土)	3.16(木)	2.25当日
障害者施策推進協議会							10.19(水)						年1~2回
途切れない支援連携会議			6.15(水)			9.1(木)		11.22(火)		1.30(月)			年4回
思春期就労準備支援事業検討会議			6.17(金)		8.5(火) 8.30(火)	9.29(木)	10.24(月)	11.4(金)					9.29、10.24当日
官民協働による地域づくりプロジェクト会議						9.26(月)							
地域生活支援拠点関係										1.13(金) 学習会			拠点WG
県自立支援協議会関係								11.14(月) 県地域合同					
中北担当者会議		5.10(火)			8.2(火)			11.1(火)			2.7(火)		

平成28年度南アルプス市障害者自立支援協議会 委員名簿

NO	区分(要綱第3条第2項)		所	属	氏名	備考
	(1)障害者及びその家族	(2)障害者福祉に従事する者				
1		障害者福祉に従事する者	社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会	県立育精福祉センター成人寮	塩澤 一夫	
2		(3)相談支援に従事する者	社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会	生活支援センターなしのみ	田中 正志	
3		"	社会福祉法人蒼溪会	相談支援センターカマラド	有野 哲章	
4		"	社会福祉法人蒼溪会	相談支援センターカマラド	鴨作 光昭	
5		"	社会福祉法人三井福祉会	アンドンテ	飯室 正明	
6		"	南アルプス市福祉総合相談課	相談支援担当	中澤 柱太	
7		(4)保健医療に従事する者	特定医療法人南山会	峡西病院	上田 謙二	
-		(5)教育又は療育に従事する者			-	
-		(6)就労支援に従事する者			-	
8		(7)地域福祉に従事する者	南アルプス市福祉総合相談課	地域福祉担当	河野 慎治	
-		(8)前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める者			-	

平成28年度南アルプス市障害者自立支援協議会 運営会議メンバー

NO	区分(要綱第9条)		所	属	氏名	備考
	会長	副会長				
1		会長				
2		副会長				
3		会長が指名する者	南アルプス市障害福祉課	障害者自立支援担当	宮下 学	
4		"	"	"	石原 琢磨	
5		"	南アルプス市障害者相談支援センター	(ほけっとはうす)	窪川 知也	
6		"	"	(きづな)	坂本さやか	
7		"	"	(カマラド)	中村 穰	